文献３

BioResources 15（1）1354-1369 (2020)

Chemical mutagenesis of *Saccharomyces cerevisiae* for enhancing bioethanol production

with fermentation at very high sugar concentration

N. I. Elhussieny et al.

Jazan Univ., Saudi Arabia

【概要】

Egyptian Sugarから分譲された*S. cerevisiae*に対し、エチジウムブロマイド（5～25μg/mL、30分）による変異処理をおこなった。続いて10%エタノールを含むYEPD培地で生育した耐性株２株（EtB20a, EtB20b）を得た。

　このうちEtB20b株はグルコース30%の培養で親株18.01%に対して、19.5%のエタノール生産を示した。糖消費はそれぞれ41.24%, 40.06%であった。